（施工者様用）

DRY・WAVE® ドライ・ウェーブ

SE型

腰壁用可動式物干金物

取付説明書（施工者様用）

このたびは、「腰壁用可動式物干金物」をご採用いただき、ありがとうございます。施工前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。本取付説明書・取扱説明書は必ずお客様にお渡しください。

⚠警告

この表示は、誤ると『死亡又は重傷を負う可能性が想定される』内容です。

- ●物干掛けとしての製品です。物干掛け以外の用途には使用しないでください。
- ●ベランダ・バルコニーの手摺の外側には、絶対に取付けないでください。
- ●ベランダ・バルコニーに取付ける場合、非常口・避難ハッチ・換気口等の妨げにならない場所に取付けてください。
- ●高所での取付作業は、部品や工具の落下に十分注意して行ってください。

目安重量：30kg

（1セットあたり）

⚠注意

この表示は、誤ると『傷を負うか又は、物的障害の可能性が想定される』内容です。

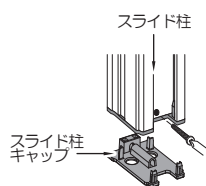
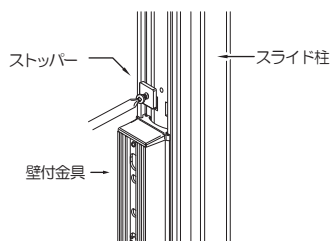
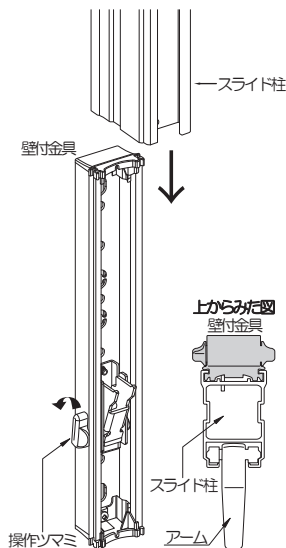
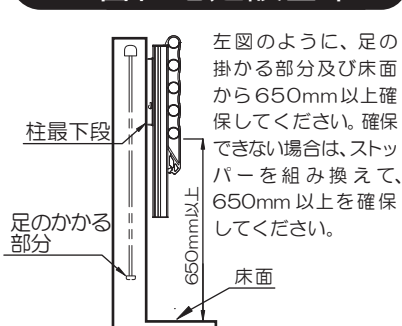
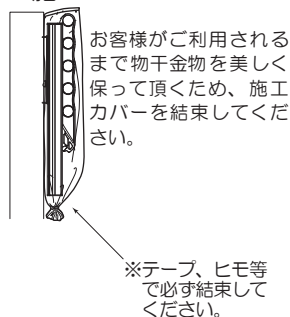
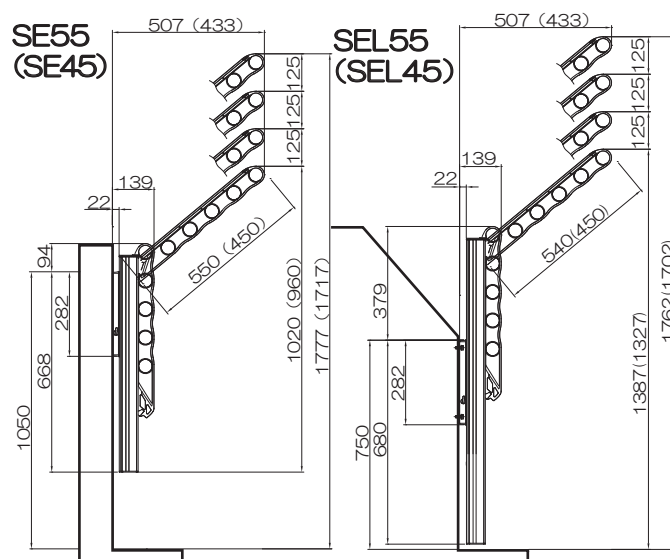
- ●物干金物の取付場所や位置は、お客様と打合わせの上決定してください。
- ●躯体側の内部構造及び外壁状態を十分に把握し、強度が保持できるファスナーにて取付てください。
- ●取付けファスナー部より浸水が想定されますので、外壁材等に穴を開けたら、下穴及びその周辺に防水シール剤等を充填して浸水しないようにしてください。
- ●砂（土）ホコリ・コンクリート粉等が物干し金物に付着すると、上下操作の動きや音に影響を及ぼします。
- ●電動ドリルを使用する場合は、必ず締付トルク調整を行ってください。インパクトドリルの使用は厳禁です。

取付方法

1. 壁付金具の取付け位置に下孔をあけ、躯体に合ったファスナーにて上下方向を注意して取付けてください。
   ※ファスナー（ネジ・ボルト・アンカー）はオプションとしてご用意しています。

2. 操作ツマミを奥へ押し込み、スライド柱を壁付金具に上から差し込んでください。

4. スライド柱キャップを付属の取付ネジで固定してください。
   ※電動ドライバー等は使用せず、手回しで固定してください

5. ガタツキが無いか、アームがスムーズに動くか、確認してください。

■参考取付寸法図

■梱包内容

※（）員数は3本仕様

名称	略図	員数	仕様・材質
本体		2(3)	アルミ押出し材 アルミダイカスト 他
スライド柱キャップ 取付ネジ4×45		2(3)	ステインレス
スライド柱キャップ		2(3)	ポリプロピレン樹脂
施工カバー		2(3)	ポリ袋
取扱・取付説明書		各1	

■取付部品

RCの場合 ―― 品番：DRY-06-05

カットアンカー	M8用（4ケ）
六角ボルト	M8×25(4本)
平 座 金	M8用（4ケ）

木造の場合 ―― 品番：DRY-06-14

十字穴付コーチスクリュー	φ8×90（4本）
平 座 金	φ6.5×φ18(4ケ)

□50 支柱の場合（貫通固定） ―― 品番：DRY-06-06

六角ボルト	M8×80(4本)	六角ナット	M8用(4ケ)
平 座 金	M8用(8ケ)	バネ座金	M8用(4ケ)

□70 支柱の場合（貫通固定） ―― 品番：DRY-06-07

六角ボルト	M8×100(4本)	六角ナット	M8用(4ケ)
平 座 金	M8用(8ケ)	バネ座金	M8用(4ケ)

公営住宅建設基準

左図のように、足の掛かる部分及び床面から650mm以上確保してください。確保できない場合は、ストッパーを組み換えて、650mm以上を確保してください。

■施工カバーについて

お客様がご利用されるまで物干金物を美しく保って頂くため、施工カバーを結束してください。

※テープ、ヒモ等で必ず結束してください。

（お客様用）

DRY・WAVE®
ドライ・ウェーブ

SE型

腰壁用可動式物干金物

取扱説明書（お客様用）

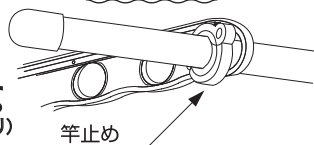
このたびは、「腰壁用可動式物干金物」をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用下さい。お読みになった後は、大切に保管してください。

⚠警告

この表示は、誤ると『死亡又は重傷を負う可能性が想定される』内容です。

●物干掛けとしての製品です。物干掛け以外の用途には使用しないでください。
●物干金物や物干竿にぶら下がると破損する事があります。特にお子様が遊ばないようご注意ください。
●物干竿の落下防止のため、竿の両端には**市販の竿止め**などを必ずご使用ください。

目安重量：30kg
（1セットあたり）

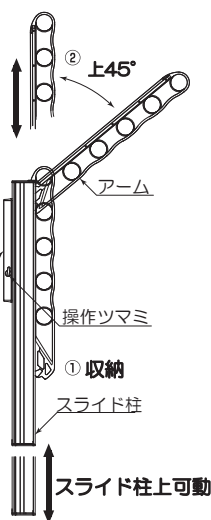
⚠注意

この表示は、誤ると『傷を負うか又は、物的障害の可能性が想定される』内容です。

●ロープ又はひもをかけて使用すると、物干金物に横方向の荷重がかかり、破損や故障の原因になります。必ず物干し竿を使用して下さい。
●洗濯物以外の重量物を掛けると破損や故障の原因になります。
●物干金物の高さを調整する時、操作方法をご理解の上、行ってください。無理な操作をすると、破損や故障の原因になります。操作は必ず、両手でおこなってください。

操作方法

■アーム操作

アームは、上45°方向と収納の２操作になります。

●①収納状態から②上45°方向にする場合、アームを上に止まるまで持ち上げて手前側に回転させます。
●上45°方向から収納状態にする場合、アームを垂直になるまで回転させてから静かに下げます。

■スライド柱操作

●スライド柱を上昇させる場合、スライド柱を持ち上げてください。カチッと音がするところで柱は固定されます。
●スライド柱を下降させる場合、必ず両手で操作してください。スライド柱を少し持ち上げると、操作ツマミが壁側に動きます。操作ツマミを壁側に押したままスライド柱を静かに下げてください。

《注意》
スライド柱を持ち上げずに、無理にストッパーレバーを操作しないでください。ストッパー機構が破損する恐れがあります。

製品安全への取り組み

弊社では、当製品を安全にご使用いただける様に、「安全な製品情報システム」を取り入れて、取扱説明書を作成しています。詳しい情報はモバイルサイトへアクセスして下さい。

お手入れ方法

■日常的にお手入れしてください。

●軽い汚れの場合
水で濡らした雑巾か、柔らかいスポンジ等で製品全体を拭いてください。その後、乾いた雑巾で乾拭きしてください。
●ひどい汚れの場合
中性洗剤を薄めた液で汚れを落とし洗剤が残らないように水洗いして下さい。その後、乾いた雑巾で乾拭きしてください。

■お手入れのご注意

●アルミの表面は傷つきやすいのでお手入れには雑巾やスポンジ等やわらかなものをお使いください。金属製のブラシやヘラ又は、スチールウールタワシ、目の荒い紙、紙やすり等のご使用は避けて下さい。
●洗剤は中性洗剤を薄めてお使いください。酸、アルカリ性、塩素系薬品は腐食や塗装の剥がれを引き起こしますので絶対に使用しないで下さい。

※又、中性洗剤をお使いになられた際、十分に水洗いをして下さい。洗剤が残ったまま放置しますと腐食の原因になります。

■地域別によるお手入れ回数の目安

お住まいの立地条件	お手入れ回数
臨界工業地帯	３回／年
海岸近く・工業地帯	３回／年
市街地	２回／年
田園地帯	１回／年

《注意》台風通過後は、水洗いしてください。
（塩分を含んだ雨、風にさらされている可能性があります）

〒577-0013
大阪府東大阪市長田中2丁目2番30号　長田エミネンスビル2F
TEL（06）7711-3080
http://www.takaranet.co.jp

130830